

したのだ。

宣告が言渡されると、有罪者すべてはバンザイ／＼と叫んだ。これはアナキー万才である。

かくて日本のフランシスコ・フェラーは数日中に絞首されよう。

＊

＊

＊

コウトクデモ

日本政府の恐るべき犯罪——デンジロ・コウトクと同志の合法的殺人——は全世界のリバタリアン主義者の比べものない憤激をひき起こした。ヨーロッパと全米では、人間性の良心を持つ人びとが日本政府の野蛮性と野蛮主義及び兇悪な非人間的方法を一致して非難している。

進歩的人びとは民族、党派、革命家、急進派、知的プロレタリアの別なく、12名の日本のアナキスト・社会主義者の政治的暗殺に抗議する為、手を組んだのである。至る所で人間性に対する挑発は、進歩的人びとによって問題にされている。スイスとフランスのフリーメーソン支部、医療集団の構成会員、労組、サンジカリストの諸組織は共通の場に会合し、一致して合法的殺人を非難すると共に国際プロレタリアートの連帯を表明した。

米国では最大の意義深い集会在1月29日月曜日、ニューヨーク、ウェブ・スタートホールで行なわれた。この大衆集会是コウトク抗議協議会と呼ばれ（各方面の急進・労働組織を代表している）2000名を越える人びとが、次の決議によって革命的プロレタリアートの感情を代弁した。

それ故、これらの同志の唯一の犯罪は、民衆に科学的思考をすすめた努力であり、人びとに労働者の悲惨と品位の低下を育くむ社会組織てんぶくのための運動

を創造する目的をもっていたことであって、「皇位と天皇個人に対する反逆」は虚偽で立証されていない。しかもそれ故に、この事件は同質の多くの事件の一つであり、フランシスコ・フェラーのいわゆる裁判及び暗殺と緊密な関係をもっている。

決議；1 記念デモ集会に出席したわれわれニューヨークの労働者達は、日本政府の野蛮性と野蛮主義を非難し、国際的革命運動は、階級法則と専制主義を排して、社会的進歩の運動に倒れた日本人及びその他の犠牲者の死に復しゅうすることを明らかにする。またわれわれは、デンジロウ・コウトク博士とその同志達の勇気ある高邁な仕事を評価・賞賛し、われわれは彼等を殺害したものの解放闘争を強力に前進せしめることを誓いここに決議する。

ウェブスターホールのデモは、街頭デモに終わったが、これにより男子4名と女子1名が逮捕された。逮捕者のうち1名は、夜間裁判所で放免されたが、女性は10ドルの罰金を支払った。他の3名の同志は刑務所に入り、1名宛500ドルの保釈金を友人達が払うまで留置された。彼等は現在特別法廷で裁判を受けている。

この状況に鑑み、コウトク抗議協議会は、正義と自由を愛好するすべての友人達に先述の同志達の援助資金及びトウキョウでしょうけつしている日本の反動による多くの犠牲者に対し財政的支援を送る為の資金組織を作るのに参加されるよう訴える。彼等の家族はミカドの刑事共によって狩りだされ、働く権利を拒否されて、生活手段がないのである。その多くの同志達同様だ。われわれは彼等を飢えさせておいてよいのだろうか？

義捐金は支援委員会の出納係アレキサンダー・ベルクマン、ニューヨーク第13番街210号に送ること。

* * * *

〔記事〕

日本の状況は刻々と堪えがたくなりつつある。信頼できる情報によれば、急進派の人びとに対する迫害が強まり、「政治的に信用できぬ者」の疑いを受けた人びとが数多く逮捕されている。

コウトクの個人的な友人でわれわれとの文通者の言うのによれば「小柄な褐色人の政府は人間の血を求めて狂気じみている」とある。数百名が刑務所へ引き立てられ、安全な者は誰もいないのだ。

……どうしたらいいのだろうか？国際社会主義者協会は何をしているのか？その影響力はどこにあるのか？各国の社会主義者の代表と新聞は、連携して動くことはできないのか？しなければならない事はすべて実施し、各地の同志達は事件の真相に向い奮起させよ。

日本の覚醒の叫びが聞えないのだろうか？

コウトクの抗議は正当化されるだろうか？

ニューヨーク 2月3日1911年

(1911年4月号)

私は「コウトク抗議協議会支援委員会」の布告を今しがた受取った。それによると「日本政府による12名のアナーキスト並びに社会主義者の合法的殺害」とある。私は彼等はこの地である人びとの言う哲学的アナーキストに他ならず、社会主義者であるとは思えない。彼等を「アナーキスト並びに社会主義者」とひっくるめるのは彼等に対し公平でなく、他の人に対しては混乱を招くものだ。アナキーと社会主義は(タッカーにとってと同じく)私にとっては、思想の対極である。だが彼等12名は日本当局の任意の処置を待って、刑務所にまだいることは記憶されなければならない。アナーキストがさような処置に逢い、またさよ

うな抗議をするのは、そしてテロリストの意味合いをもったアナーキストと彼等を規定するのは、それが一般的で誤っているが“アナーキスト”の語はそうのように理解されているのだから、かえって彼等の背後から突くように思われるのである。この決議文の脅迫は特によくない。

私はアナーキスト流の同情の表明の仕方は何であれ、その名称によって暴力の脅迫をもってするのは、日本の官憲に囚人に対する偏見をもたせるだけだと信じている。従って報告されているものも同じだ。

私がこれらの抗議に参加したのは、それが兎角、アナーキストによって何とか行なわれ、またもし最初からやり直すとしても多分他の誰かではできないからだ。更に私の氏名は幾らか保守の問題に関連して知られているから、そうすることによって 弁 明 的 な効果を希望しているからだ。しかし私の氏名を引こめるかどうかで“アナーキスト”の多くの誤解のある名称の下での抗議を硬化させる傾向があるなら、私はひっこめるべきだ。それは同情がないからではなく、われわれが獲得しよう、少くとも提案する目的即ち反逆の口実で、意見を發表したために罰せられようとしている人びとを救援するという目的にあてた手段の採用の仕方が悪いように思われるからだ。

同じ理由で抗議協議会の訴えは、生残っている人びとをも傷つけるように思われる。それは彼等の救援にわれわれが金銭を提供する以上のものだ。

ボルトン・ホール

☆

☆

☆

＊ホール氏は誤っている。抗議集会は“さようなアナーキスト”によって開催されたのではなかった。コウトク抗議協議会を組織する呼びかけはニューヨーク地区 S・L・P（社会主義労働党）によって出された。抗議集会での参加者、発言者はあらゆる度合のラジカリズムを代表していた。

親愛なホール様

1911年2月11日

あなたのお手紙は「大地」誌3月号に発表できませんでした。わたしも非常に忙しく、3日付のあなたのお手紙のご返事が遅延致しました。

わたしはあなたのお手紙の内容に驚いたと申し上げても決して言い過ぎではありません。わたしはわたしを10年以上も知っていて下さるあなたやすべての仲間の人びと、またわたしと同じ考えの他の多くの人びとに期待していました。あなたはアナーキストを哲学的なものとテロリストに2分割する考えを発展させておられますね。だがわたしはあなたが非常に多くの人びとの間で一般的である迷信のくびきかけられているのだと理解します。

ところで明白なのは、誰もが同意している——タッカー氏のような極左の尊敬すべき人でもそうですが——のは抑圧に抵抗する権利がある以外、暴力を宣伝するアナーキストは全世界で一人もないことです。

フレッドシュルダーが適切に言った“哲学的アナーキスト”の用語は、馬鹿だと思われたくないがさりとて社会の現状に反抗するのだと認める勇氣は持ちあわせていない多くの人びとのための単なるマントに過ぎないのです。この用語は米国以外の他の国では使用されていませんし、またシュルダーが引用したという理由だけで広く採用されているのです。アナーキスト、個人主義者、コミュニストがいるのは事実ですが、これらの用語はアナーキズムの下で特別な経済的調整の差異を示しているだけなのです。ですが彼等を哲学的とテロリストのアナーキストに分類するのは、思うに、非常に不合理です。あなたはその観念が一般だというだけでような分類を受入れはしないでしょ。あなたは「物件税」の一般の観念が、人から土地を奪うというだけで、この意味を受入れますか？自由人としてのあなたはあなたの依って立つものに興味をもつべきです。勿論、その間違いの概念について、公衆に説得すべきです。けれどあなたは世論を満足さ

せるというだけで自分に別の名称がつけられますか？思うに「アナーキスト」の名は全く広大で、個人の自由と集約的な機会に基礎を置いた社会について、わたし達が抱く観念には何によらず冠せられるのです。もし大衆がそれを理解しないなら、それを教育するのがわたしの仕事ですが、大衆が無知だからとの理由で自分に別の名前を冠するのは、わたしの仕事ではありません。

さて何故アナーキストが日本での恐ろしい殺人に対する積極的な抗議に参加したか説明しましょう。最近殺された日本人達は別に特別な資格を付すことなくアナーキストだと公表していました。事実、彼等は「クロボトキン主義者」として知られていましたが、それはクロボトキンの著作を訳したからでした。彼等は、以前はまた未だにマルクス流の社会主義者達によって厳しく攻撃されていますが、それはこの国（米国）において、わたし達が攻撃されているのと同じです。もし彼等の唯一の同志であるアナーキスト達が、彼等のために活動的な役割を果たさなかったら、日本の犠牲者達にとって、確かに落胆的な裏切りになるでしょう。彼等が日本で全く孤立しているのは事実なので、ここやヨーロッパでわたし達が出来る限り声を大にして、彼等に同情を表明すべきなのは当然なのです。少くとも全世界の同志達が、彼等と共にいることを知るのは何らかの勇気づけになったに違いありません。

勿論、わたしは未だ生き永らえ日本当局の手に落ちている人びとを傷つけるとなれば残念です。しかしわたしは彼等を否定することで彼等が救えるから、ただ沈黙を守ることが彼等が望むとは決して思えないのです。わたしが彼等の立場と入れ替っていたら、わたしのアナーキズムを否定するという条件でのみ所謂「リベラル」な人びとの同情と援助が与えられるのでしたら、わたしはそれを全く拒否します。

あなたがお望みならこの抗議に名前を貸して下さい。でなければ貸さなくて結構です。決定はあなたがなさして下さい。けれど自分でリベラルだとかラジカル

だと宣言しながら、相手がアナキストだからまたはアナキストが抗議において彼等の兄弟と手を組んでいるから、名前をひっこめるといふ他の多くの人びととあなたが同じだとは信じられません。もしリベラリズムに何らかの意味があるなら、それは自由の理想を信仰するという意味で、特に自由の理想を享有する個人の権利においてあるべきで、それは公衆が一般にどう理解しようと関係のないことです。いずれにせよ、われわれが自由の道程で過去に何を達成したにせよ、それは自己の信条に基いた理念の先駆者達の強固で忠実な執着のお蔭なのです。

わたしと同様ホール氏もご存知の筈ですがわたしは、あなたがわたし達に原理を裏切るとか、また保守的要素で達成した何らかのつまらぬ利得で、同志を裏切るのを期待されようとは思いません。

かような言い方は少々手なびしいかもしれませんが。けれどわたしは特にあなたにだけそうするのではなく、真実を語ったまでなのです。この国でのすべての男女の基本的な努力は、妥協にあるようですが、わたしはそれが嫌いです。わたしは自分にさような手段で、認められるものを手に入れるのは拒否しますし、わたしの同志とわたしが呼んでいる人びとをさような手段で購うのも拒否します。もし日本にいる人びとが彼等の理念を否定すれば、わたしは非常に悲しんだに違いありませんが、だからと言って彼等を非難は致しません。何故ならその時彼等は自分の熱望に反して言ったのでしょうから。けれど彼等が真理のために立上る程充分勇気がある間、わたしやここに居るわたしの同志達が彼等に反対する一般の吠え声に、何故唱和しなければならない理由があるのでしょうか？

エマー・ゴールドマン

☆

☆

☆

1911年2月13日

親愛なるゴールドマン嬢

私は手紙で言い分をはっきりさせたつもりだが、貴女のは私のしなかったことまで明確にしたようだ。だが私は更に数言付け加えて、多分無駄かも知れんが、不注意な読者にそれをはっきりさせようと思う。

貴女は私の手紙を発表するにあたって、改訂するというような、兎角好きなようにやれます。そこで貴女の返事も私のを改変したものに依って答えているのだ。

私も貴女の手紙に幾つかの註をつけよう。私の反対は方法であつたし、方法なのだ。貴女の手紙ではそれが原理に要約されているように見受けられる。(これについてはわれわれの間に不一致はないのだ。)

言葉は伝達の一方法に過ぎない。それ故最良の言葉は、われわれの思想と感情を最良に伝達するのだと思う。

もし私が“一物件税”の用語に誤解を避ける積りなら、私は確実に別な語で代用させたらう。英国でのわれわれの運動は「地価の税金」とか「借地税」と呼ばれている。

しかしここでは既に地価の税金という用語があるし、それで多少の不便はあつても、代えとなれば旧用語の一部は動かしても新しくするのは困難だ。

われわれは時々変化について論議しよう。

敬 具

ボルトン・ホール

☆

☆

☆

日 本 の 犠 牲 者 達

日本のわれわれの同志に対する合法的殺人について、1月29日、ニューヨークでは犠牲者を記念して、大きな集会が催された。集会は街頭デモで散会したが、その間3名の同志が逮捕された。この状況に合わせ、コウトク抗議協会は救援委員会を組織した。その目的は2つある。まず逮捕された同志を援助し、わがトウ

キョウの犠牲者達の寡婦と孤児に財政的な支援を送ること。この後の目的にあて、救援資金部の会計係は、日本の同志達と連絡して、カトウトキジロウ博士から次の返事を受取った。この人は日本の革命運動の指導者であり、その他多くの知性人のひとりである。彼の沢山な翻訳はかの国の人びとに西欧近代思想を親こうさせている。主著はベーベルの“女性、その過去、現在及び将来”の日本語訳である。カトウ博士はまた1907年ステットガルトで開催された国際社会主義者会議にも代表として出席した。カトウ博士の手紙はそれだけで語るだろう。しかしこれがわが犠牲同志達の氏名と人となりについての、最初のしかも真実な報告であることは指摘しておかねばならない。

1911年3月26日 トウキョウ

A. ベルクマン殿

親愛な同志、私はあなたの親切な手紙を受取りました。それによるとあなたが犠牲者ならびに未だに刑務所にいる同志達の為に、お金を集め送って下さるとのことです。私はここに全日本の社会主義者及びアナーキストの運動を代表し、友愛につきあなたに深謝致します。またあなたがお送り下さるお金に付いては、指示に従い配分することをお約束します。家族のある人びとは非常に貧しく、多くの助けを望んでいます。刑務所にいる同志もいい本を読みたがっているのです。

わが犠牲者達がどの党に属していたかとの質問に答えるのはむづかしい。或る人はアナーキスト・コミュニストだと公言していました。また或る人はたゞ社会主義者だと言うのです。しかも別の人びとはコミュニズム、社会主義、アナーキズムは一つのもので同じだと、ディッゲンが支持していたと同じことを言っています。要するに彼等は日本の急進的革命家でありました。殺害された同志の氏名は次の通りです。

デンジロウ・コウトク（博士ではない）ジャーナリスト、エッセイスト 41才

セイノスケ・オオイシ	医師，米国で勉学	4 5 才
コードウ・ウチャマ	僧侶	3 2 才
タダオ・ニイムラ	小地主	2 5 才
ウイチタ・マツオ	地主であってジャーナリスト	3 5 才
ウイチロウ・ニイイミ	ジャーナリスト	3 2 才
スガ・カンノ	ジャーナリスト，コウトクの恋人	3 1 才
ウンベイ・モリチカ	元地方公務員，更にもとは小農民	3 1 才
リキサク・フルカワ	園芸家	3 0 才
タキチ・ミヤシタ	商人	4 2 才
ケンシ・オクミヤ	古くからの革命家	5 5 才
ヘイシロウ・ナルイシ	法律学生	2 5 才

私は丁度，サンフランシスコへ出発する友人から「大地」誌の2月号を受取りました。私はこの事件について多くを語りまた，われわれの運動の将来についても話したい。しかし今はできません。われわれの手紙は，官憲によって，秘かに封切られています。所謂「帝国憲法」の下では，信書の秘密は守られていないのです。

敬 具

トキジロウ・カトウ

トウキョウ，シンバシの近くで

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

わが日本の犠牲者達の寡婦と孤児達は，米国の友人が救援にくるのを待っている。需要は大きい。よい返事を下さい。

救援委員会は \$ 2 7 1.8 2 を集めた。コウトクデモで逮捕された同志の法廷費用には，25ドル使っただけである。非合法集会の裁判は先過行なわれ，1名が

放免され、他の2名は刑務所で刑の宣告を待っている。一方金の方は100ドルをカトウ博士に送った。寄金の為の本の配布はまだやっているが、予約講読者名簿に載っている同志は、それを繰って、金を集め救援委員会の会計係まで送りたい。

☆

☆

☆

日 本 か ら の 声

(1911年7月号)

革命に眼覚めた精神は日本で盛んである。西欧“文明”のマモン(金力の神)は彼の国のプロレタリアートをケツ起させ、解放への国際的運動に活動的に参加させている。

日本から受取った次の手紙は、わが読者に興味をよびますであろう。

1911年6月3日 トウキョウ

ニューヨーク、

アレキサンダーベルクマン殿

拝啓、あなたの登録した手紙を今受取ったところです。日本政府はわれわれの手紙をひそかに開封する程野蠻ですが、お金は盗めません。金を送って下さい。われわれは緊急に入用なのです。20名またそれ以上の同志達が未だに刑務所に在り、その多くは終身刑なのです。犠牲になった同志達の家族は、迫害と貧乏に耐えて闘っています。われわれの運動は国際的なものです。だがこれらの悲劇と困難にもかかわらず、われわれは非常に楽天的です。われわれは更に闘うでしょう。今でこそ弱っていますが、日本のプロレタリアートはその長い眠りか

ら覚めるところなのです。あなたはもう10年もすれば、日本で強大な運動があるだろうことを期待されましょう。

カトウ博士は私の友人で同志です。あなたは彼または私宛に送金して下さい。私は長い旅行から帰ってきた処です。この旅行では処刑されたり刑務所にいる同志達の家族を訪ねました。あなたのお金を受取れば、それを必要とする家族に分配しますが、またその幾らかは、刑務所にいる同志達へ本を贈るのに使います。囚人には本だけが差入れを許されているのです。手紙は書けません。彼等は近親者からだけ手紙を受取るのを許されています。

日本政府は社会主義またはアナーキズムの新聞雑誌を没収しますが、私は米国にいる幾人かの友人達からしばしば「大地」誌を受取っています。

敬 具

トシヒコ・サカイ

アレキサンダーベルクマン殿

拝啓、われわれは25ドルの為替を同封されたあなたの親切な手紙を受取りました。あなた並びに米国の同志達のわが犠牲者に対する同情を深く感謝致します。われわれは犠牲者の必要とする家族にお金をすぐ配分します。また幾冊かの本を囚人達に恵与しましょう。お金はあなたの指示に従って、消費することを信じて戴きたい。

われわれの同志の一人が亡くなった同志の家族を訪問する長い旅行に出ました。同志ニイミの寡婦は横笛の吹奏者として生活費を稼ぎ、彼女の母親と淋しく暮しています。同志マツオ（彼には息子と娘がある）の寡婦は亡くなった者の弟と結婚するよう迫られている。しかし彼女は親類が巧妙に作ったこの計画を拒絶しているのです。彼女は多分家族から切り離されるでしょう。若くて美しいひとです。彼女の運命がどうなるか心配です。

同志オオイシの寡婦は2人の子供達とひっそり暮しています。同志オオイシは医者だったので、幾らかの財産を残したのです。

同志ナルニシの寡婦は舅、姑と共に小さい店を守っています。

その他の7名の殺害された同志達は、妻も子供も残していません、だがそのうちの幾人かは貧しく年老いた父と母を残しています。

刑務所にいる同志達の家族については、その多くの妻達が生活のため懸命に働いています。コマツ夫人は鶏を飼っています。タケダ夫人は妹（歌手です）と同居しています。オゴモト夫人は工場で働いている。タカギ夫人は寺を追放されました。（同志タカギは僧侶である）これらの人びとはみな終身刑の夫の帰りを待っているのです。オカバヤシ夫人の場合は悲惨です。彼女は自分の意志に反して、彼女の両親の強要によって夫と離婚を強いられた。そのためオカバヤシ君の老父は母に捨てられた孫息子を育てています。

多くの老母は刑務所に入った息子のため悲しんでいます、またその多くは貧しい生活のため懸命に闘っているのです。

他にもここに記せない多くの事件があります。

われわれはあなたがこのような寡婦、母親、父、子供達のため助けをさしのべられたことで大いに安堵しました。どうかお手許の金を即刻送って下さい。

ところでここに兩人の氏名を記しますが、それはあなたがそのどちらへ送金されても同じだという理由によるのです。

敬 具

トシヒコ・サカイ

トキジロウ・カトウ

住所： トウキョウ、ヨツヤ、ミナミテラマチ6

トウキョウ、キョウバシ、コビキチョウ、6チョウメ